

ぼくらの公務員試験攻略法

こんにちは、2009年度公務員試験合格者「H」です。

以下に述べる内容は、わたしはこうしたという例にすぎません。ほとんどの方にとっては読むだけ時間の無駄というような代物ですので、「自分には合わないな」「これはないわ」と思われた方は、ブラウザの「戻」るボタンを押してください。

ここから下が本文です

はじめに

わたしは勉強が苦手で嫌いです。机に向かっている時間はできるだけ短くしたいですし、毎日決められた量の勉強をこなすのも難しいです。半年とか一年とかずっと勉強だけの毎日なんて、考えただけでできそうにありませんでした。そもそも机に向かう前にPCと漫画の誘惑を振り切れませんし、机に向かってもゲームや小説の続きが気になって仕方ありません。かといって、公務員試験には受かりたいですし、受からなければ後がないですし、そのためには勉強をする以外のやり方はありません。

そこで私の試験勉強は、いかに机に向かう時間を減らし、勉強以外の時間を確保するかということが大きなテーマになりました。もっと体のいい言い様をすると、「効率のいい勉強をすることで、試験本番まで最高のモチベーションを保つ」ということになりましたが、その内実というか、動機の根本は先に述べたようなことでした。

ここで、私の一次筆記試験の戦績を紹介します。以下が先述の勉強方法の結果です。

合格先 特別区 自衛隊幹部候補 防衛省 種 裁判所事務官 国立大学法人 三鷹市
不合格先 国家 種 国家 種

8戦6勝の結果はまず悪くはない方だと思います。

一次試験の筆記は、試験の本番までにどれだけ準備できたのかで決まりますが、私は先に述べたとおり勉強が嫌いで苦手でしたので、できる限り机の前から逃げ回っていました。それでもやりようによっては結果を出すことは可能なのです。

意識していたこと ~勉強のスタイルと目的意識~

目的意識

我々は公務員試験の合格、いやさ目的の自治体、官庁からの内定を最終的な目標としています。つまり、法律や経済についての知識を深めたいわけでは決してないんですよ。筆記試験にむけてやる勉強とは、試験当日に、解答用紙の正解の選択肢に、7~5割くらいの確率でマークするためのものなのです、当然ながら。ですから、公務員試験に向けての勉強で、常に意識することは、この目標にいかにか確実に楽をして到達するかということです。勉強した時間や科目への理解を測られるわけではなく、作成した答案を見られるだけだということは、言うまでもないことですが、忘れてはならない大事なことだと思います。

効率の良い勉強のために

では、先に述べた目標にどのようにして到達したか、述べさせていただきます。
人によって得意科目が違うように、勉強のやり方もそれぞれ向いたやり方があると思います。言い換えれば自分にとって効率のいい勉強のスタイルというのがあるはずです。そこで私は、勉強時間を減らすために、自分に向いた勉強方法を探すことからはじめました。

私は、机に向かって集中していられる時間と適切な休憩時間の把握、勉強するためのコンディションづくりなどの外枠に関する部分と、暗記系の勉強についての費やした時間と定着率の最適点や、解答に必要な程度の理解を得るために必要な予習復習の時間等の内容に関する部分との二点について、勉強を始める前段階からの準備を入念に行なうことで、試験勉強全体を通じての勉強時間を最小限にすることができたと思います。

具体的な勉強時間

通常期

私は、予備校の入学こそ6月と早かったもののアルバイトを続けながらだったために自宅での勉強時間を取ることができませんでした。アルバイトをやりつつ授業に出席して、さらに趣味の時間をたっぷり取ろうとすると、なかなか自宅での勉強時間というのは確保できなかったのです。具体的には、勉強を始めた6月からバイトをやめた2月までの平均勉強時間は週に3～4時間程度でした。

直前期

目的とする試験日はよりけりです。5月半ばの特別区から7月末の市役所B日程まで、直前期と呼べる期間はまちまちですが、私は2月から5月までが直前期でした。この数ヶ月は何もしなくてもモチベーションが上がり、集中力が高まりました。バイトをやめたこともあって自宅での勉強時間は飛躍的に伸びましたが、それでも多い日で6時間といったところでした。

勉強についての意識

少ない勉強時間でより多くの一次合格を得るためには、なにしろ効果的な勉強をする必要がありました。そのために心がけたことが一つだけありまして、机に向かっている時間を無駄にしないということには常に注意を払っていました。例えば「フォーカスを30ページ終わらせたら休憩」とか「12時までやったら休憩」などのノルマを自分に課すことはしない、ということです。集中力を維持できている間は勉強を続けて、疲れてきて効率が落ちてきたら休む、疲れが取れたらまた勉強に戻る。つらくて退屈な机に向かっている時間なのに、ただフォーカスの解答を読むだけ、文字を書き写すだけという非効率的な作業に費やされてしまっては悲しい限りです。

合格のために必要なこと

公務員試験に限らず、凡そ試験は、運悪く落ちることはあっても運よく合格することは無いのではないかと考えます。試験当日の突然の腹痛や電車の遅延によるあせり、寝不足や寝坊などなど、運が悪ければいくらでも実力以下の点数にはなりません。ですが、実力以上の力を発揮できる幸運というのはいりえないと思います。

これは、例えば試験開始の鐘が鳴るまでに合格点に届くだけの試験に関する知識なり訓練なりが、必要であるということとは言えたとしても、それだけでは不十分であるということです。さらにいえば、合格点に届くための準備についても、人によりその内容や準備はことなるのは当然でしょう。

さて、最初の例では、万全な体調管理と余裕を持った時間調整なども本番の試験で満足いく解答を作成するためには必要であるということを述べましたが、これはそのまま試験勉強についてもあてはまるのではないのでしょうか、と。つまり、満足いく試験勉強を行うためには、そのための準備が必要であると、こういいたいのです。逆に、自分にあった勉強法を見つけ、それを実践していくことができれば、試験のために必要なあれこれのなかで最も大事で大変な「合格に必要な学力」を身につけることが、難しいことでも多大な苦勞と引き換えにしなければならないものでもなくなるのです。

以上、合格者Hでした。ここまでお読みいただいた方には心よりお礼申し上げます。